

校友スペシャルインタビュー②



肉定を辞退して 教員の道へ

目下部 昂太さん

経済学部経済学科
教職課程



入学までの 経緯について

日大の経済学部(通学生)を卒業した後、直ぐに日大通信の教職課程に入学しまして、現在は教員となっています。もともと、人と人が関わりあう事が好きだった

ので、就職活動の時にそのような企業を中心に活動していました。ありがたい事に肉定をいただいた企業もありました。ただ、新型コロナウイルス感染症での緊急事態宣言が出されたことで、必然的に家に居

る時間が増えまして、その時に、これまでの自分自身を見直す機会がありました。その時に、人を育てる仕事をしたい、もともと人と人が関わりあう仕事である教員になりたい、と決意しました。

なぜ日大通信を 選んだのか

教員になりたいと決意してから、色々調べたり入学説明会に行ったりしました。その時、最短で教員免許を取れて、サポート体制が手厚かったのが日大の通信でした。その入学説明会の時に色々分かりやすく教えてくださった教職員の先生方には感謝していますね。

入学してから

入学してからもコロナ禍だったので、学校にはほぼ行けませんでしたがオンラインでの単位修得が主にならざるを得ませんでした。もっと、教員を目指している人たちと知り合って、色々な話をしたかったですね。ただ、入学してから右も左も分からない私に対して、教職員の先生方や学習センターの指導員の

皆様に色々サポートをしていただいたお陰で、何とか教職課程の単位を修得する事ができました。

特に、教育実習前は大学の空き教室を使わせてもらって、模擬授業をやらせてもらったことなど、コロナ禍という緊急事態で柔軟に対応してもらった事は感謝しております。

教員採用 試験に向けて

私は土浦日大の出身なので、日大の付属校を中心に採用試験を調べていたところ、いくつかの学校で採用試験がありました。その時に目黒日大の卒業生と話す機会があり、その校風などが素晴らしく目黒日大の教員を目指すことにしました。幸いなことに、採用していただきまして、現在、目黒日大で教員をさせていただいております。

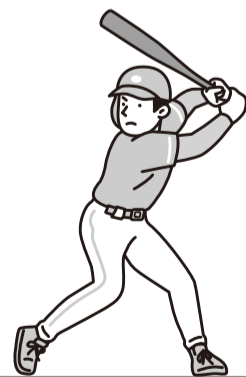
まだ教師1年目ですが、幼少期から高校まで野球をやっていたので、現在、野球部の顧問をさせていただいております。

在学生に対して アドバイスを

私はコロナ禍で学校にも行けず、学友とつながる事は出来ませんでした。ただ、教職員の皆様や学習センターの皆様のご指導で教員となる事が出来たと思っております。自分の縁に助けってもらって、教員になる事が出来ました。

『人を大切にしない』と幼少期より言わ

れてきた事でもありません。人と人は何処でどう繋がっているかわかりません。人の縁を大切にしていっていただければと思います。



校友の皆様

日本大学通信教育部校友会に入りませんか？

様々な方々からの話を聞いたり、交流をしたり、人生の幅が広がりますよ。ご興味ある方は、ぜひご連絡ください。



▲日本大学
通信教育部校友会
ホームページ

